

山鹿市
総合戦略等に関する市民アンケート調査
結果報告書
(概要版)

令和7年3月
山鹿市総合戦略課

市民アンケート調査の概要

1. 調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査の実施要領・回答数

調査時期	令和7年1月
調査対象者	山鹿市在住の市民から無作為に抽出した3,000人
調査方法	郵送による配布・回収及びインターネット回収

回答方法	配布部数	有効回収数	有効回答率
郵送	3,000件	717件	23.9%
インターネット		243件	8.1%
計	3,000件	960件	32.0%

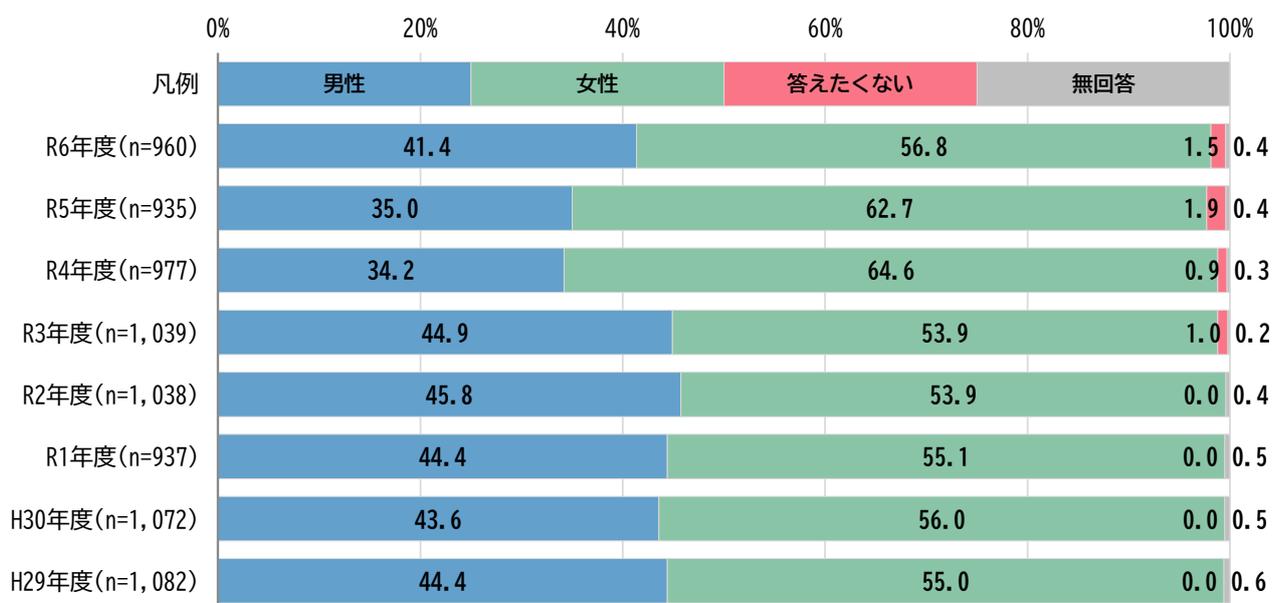
3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

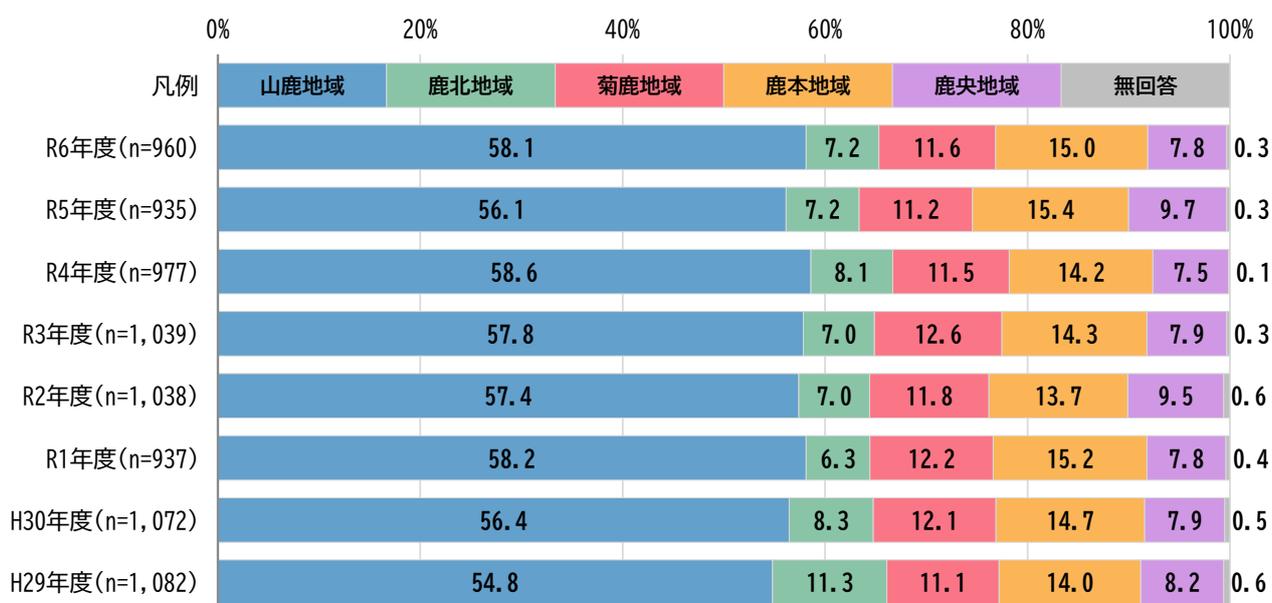
回答者ご自身の現状

- 性別では、「男性」が41.4%、「女性」が56.8%、「答えたくない」が1.5%となっており、R5年度と比較し「男性」の割合が増加している。
- 居住地域別では、「山鹿地域」が58.1%と最も高く、約6割を占めている。
- 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

【性別】



【地域別】



山鹿市の現状について（人口減少、元気度）

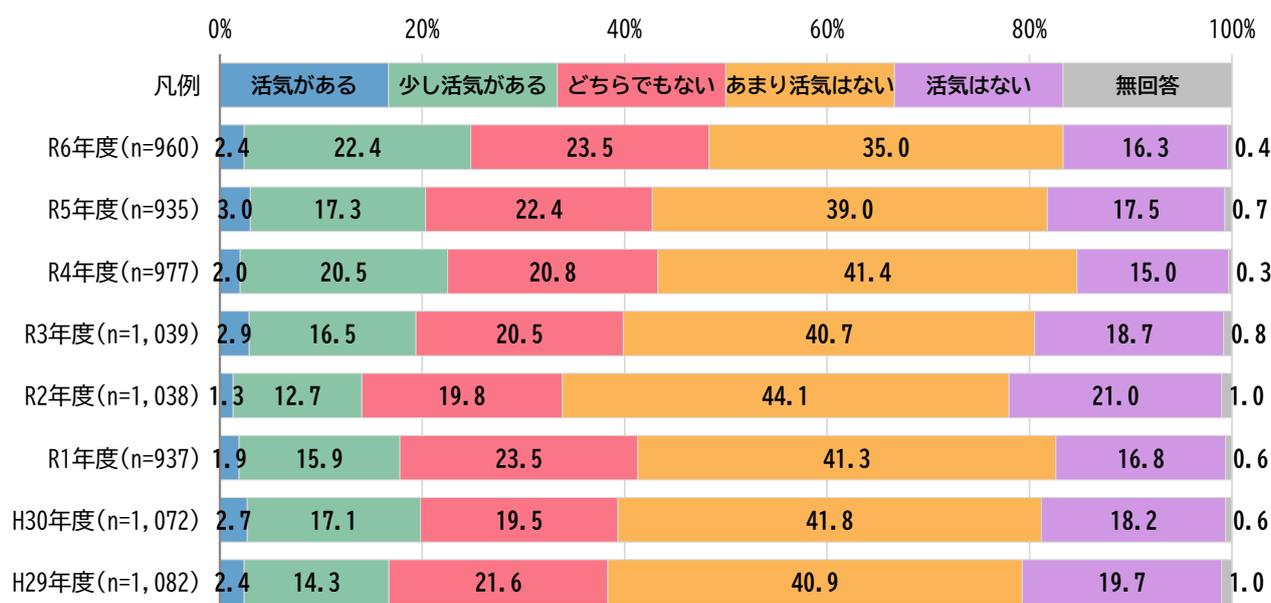
○山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が40.2%と最も高く、次いで「少し危機感がある」36.0%、「どちらでもない」17.1%となっている。各年度とも「危機感がある」が約4割、「少し危機感がある」が3割を超えている。

○山鹿市の元気度については、「活気がある」、「少し活気がある」が24.8%、「あまり活気がない」、「活気はない」が5割を超えている。「活気がある」、「少し活気がある」がR3年度までは1割台だったが、R4年度以降は2割台となっており、増加傾向がみられる。

【問6 山鹿市の人口減少について】（全体）



【問7 山鹿市の元気度について】（全体）

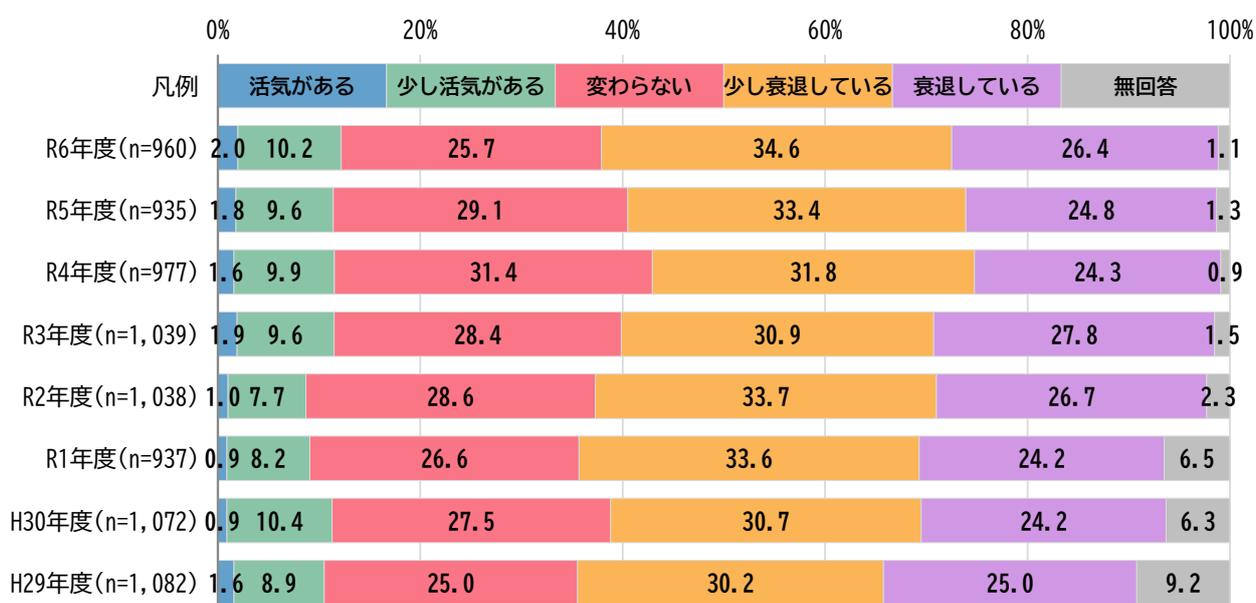


山鹿市の現状について（農林業、観光産業）

○農林業の現状については、「活気がある」、「少し活気がある」が12.2%、「少し衰退している」、「衰退している」が61.0%となっている。各年度においても同じ傾向が見られる。

○観光産業の現状については、「活気がある」、「少し活気がある」が42.5%、「少し衰退している」、「衰退している」が28.0%となっている。R4年度までは「少し衰退している」、「衰退している」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っていたが、R5年度以降は「活気がある」、「少し活気がある」が高くなっており、R6年度では4割台となっている。

【問8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか】（全体）



【問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか】（全体）

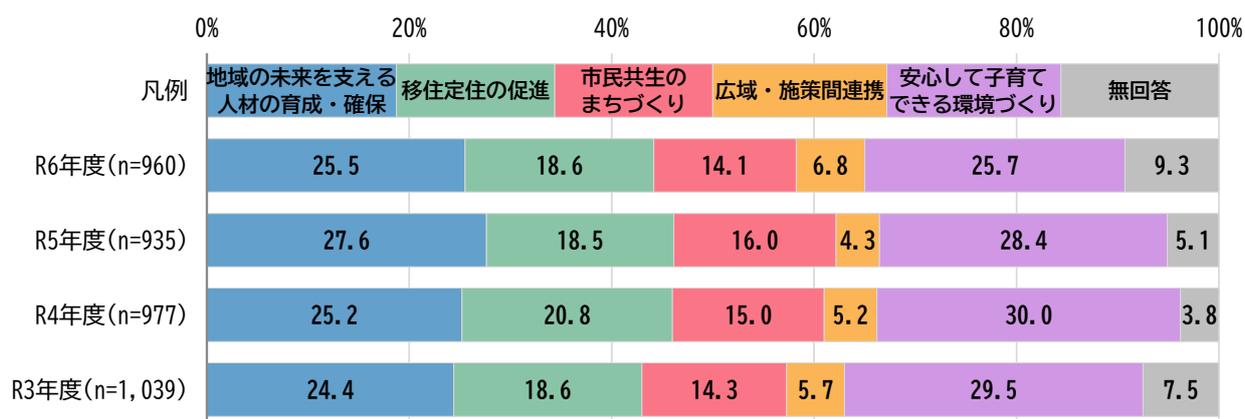


人口政策について（充実して欲しい取組）

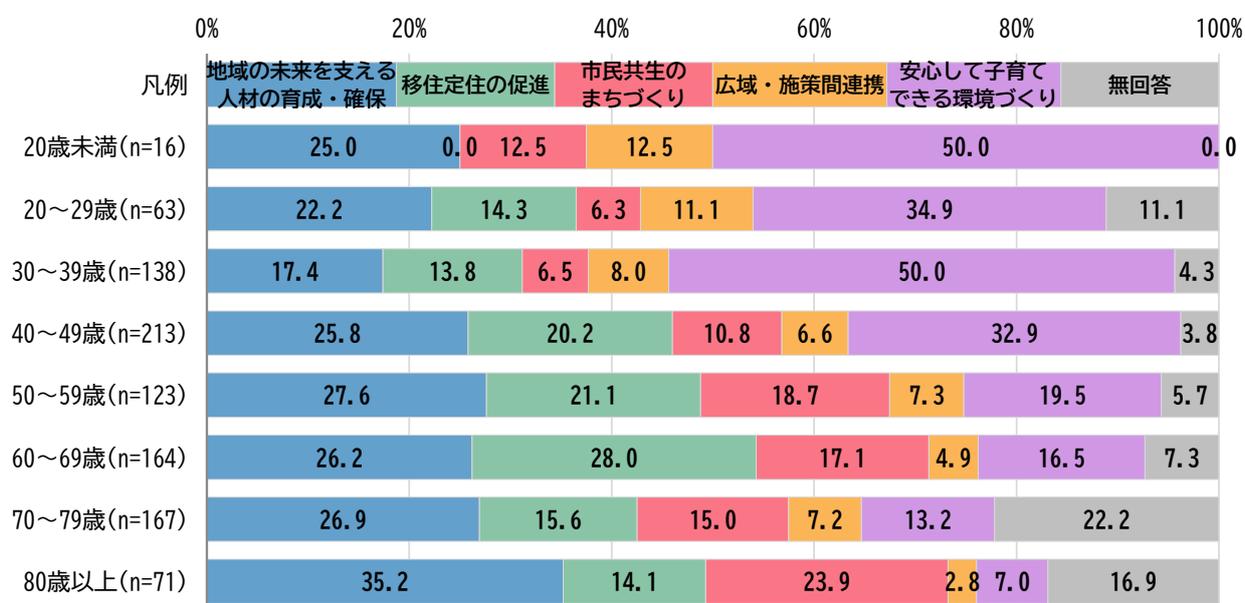
○人口政策で充実してほしい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が25.7%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.5%、「移住定住の促進」18.6%となっている。各年度においても同じ傾向が見られる。

○年代別では、40代までは「安心して子育てできる環境づくり」、60代では「移住定住の促進」、それ以外の年代では「地域の未来を支える人材の育成・確保」が最も高くなっている。

【問 10 山鹿市総合戦略における、人口政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（全体）



【問 10 山鹿市総合戦略における、人口政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（年代別）

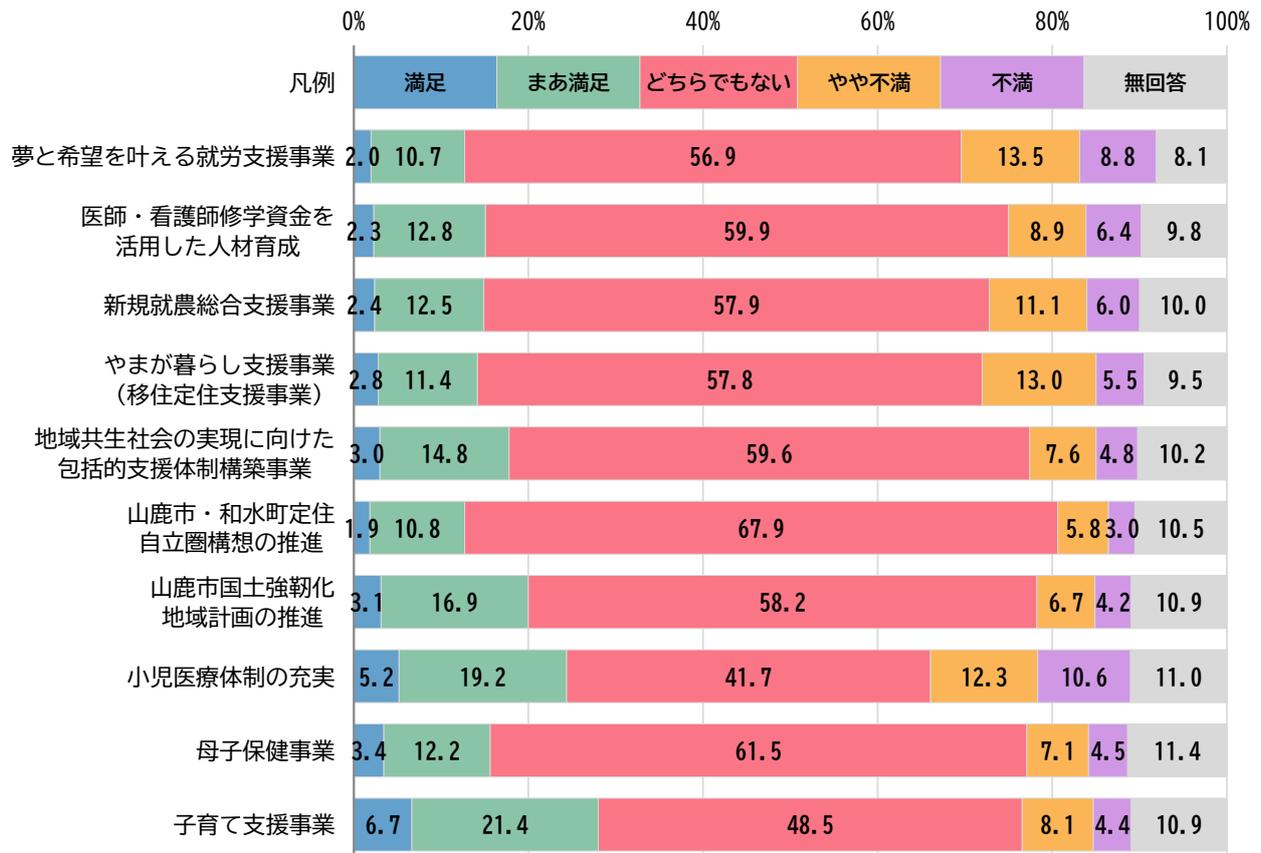


人口政策について（満足度と重要度）

○人口政策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い政策は「子育て支援事業」28.1%、次いで「小児医療体制の充実」24.4%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」20.0%となっている。

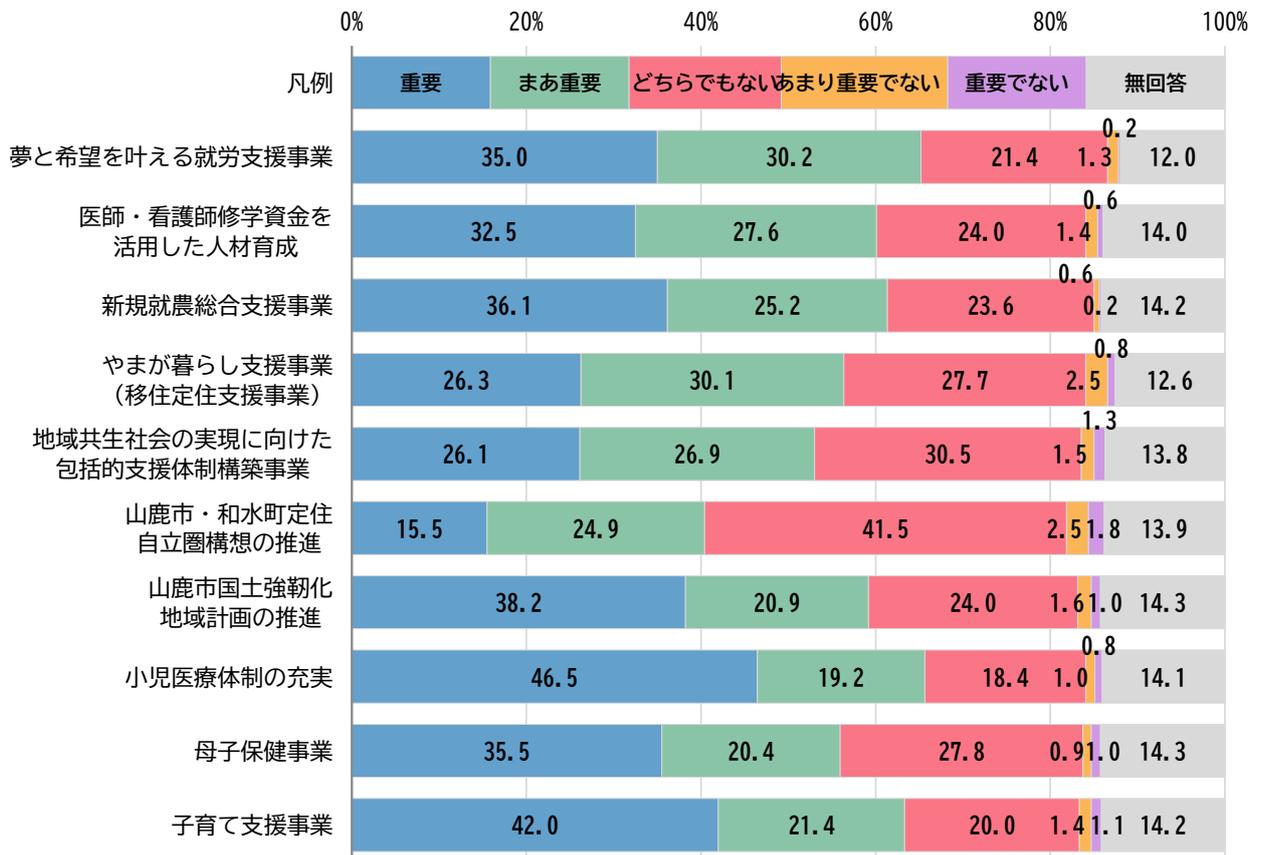
○「やや不満」、「不満」の割合が最も高い政策は「小児医療体制の充実」22.9%、次いで「夢と希望を叶える就労支援事業」22.3%、「やまが暮らし支援事業」18.5%となっている。

【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度】



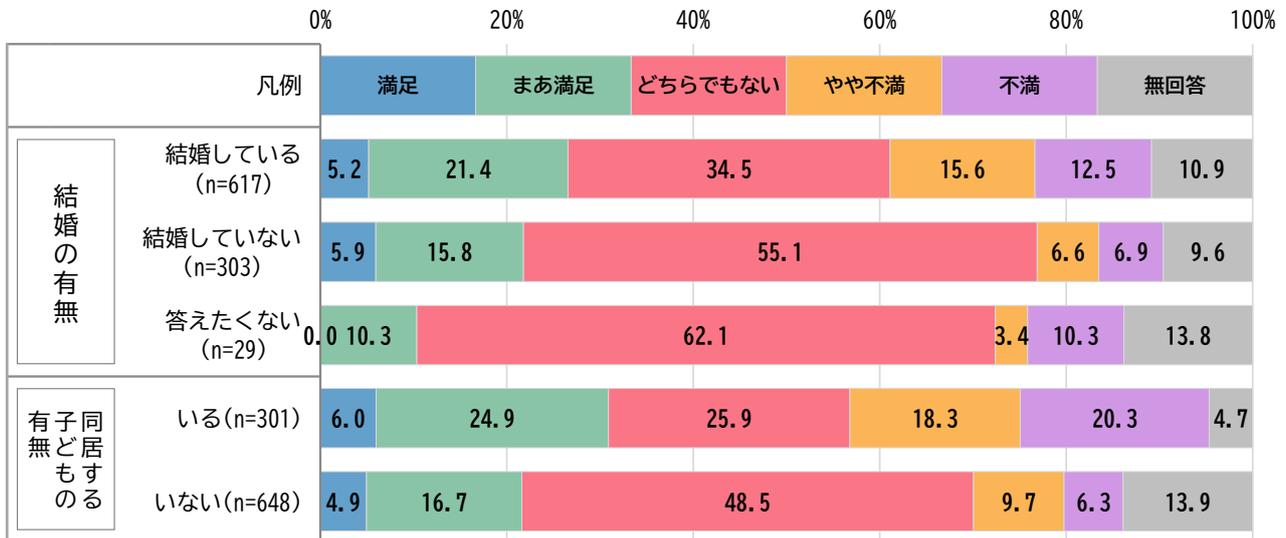
○人口政策の重要度について、どの政策も「重要」、「まあ重要」の割合が「あまり重要でない」、「重要でない」を大きく上回っており、特に「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」「子育て支援事業」は6割を超えている。

【問 11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の重要度】



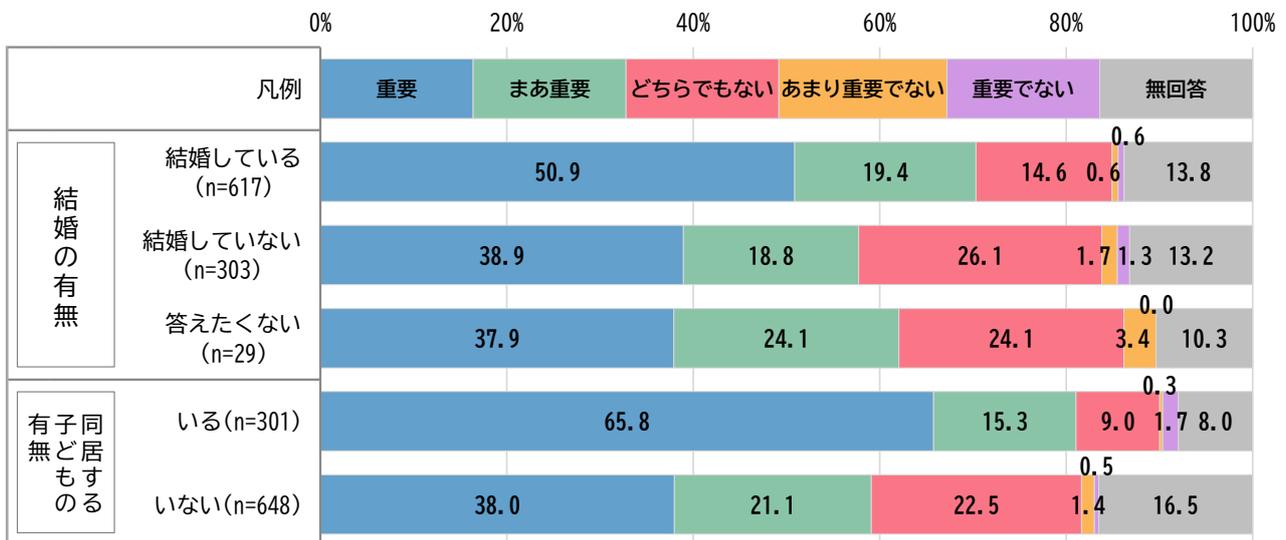
○小児医療体制の充実の満足度については、どの回答者も2割以上が「満足」、「まあ満足」と回答している。また、「結婚している」「子どもがいる」では「結婚していない」「子どもがいない」と比べて「やや不満」、「不満」の割合が10ポイント以上高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



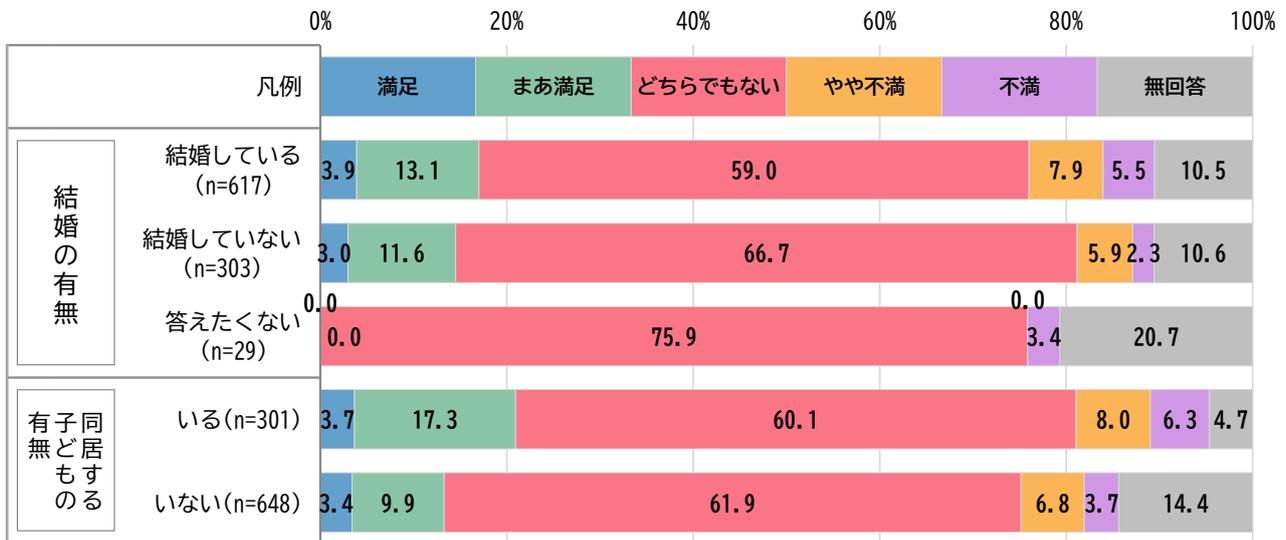
○小児医療体制の充実の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を大きく上回っており、特に「子どもがいる」では8割を超えている。

【小児医療体制の充実×重要度】



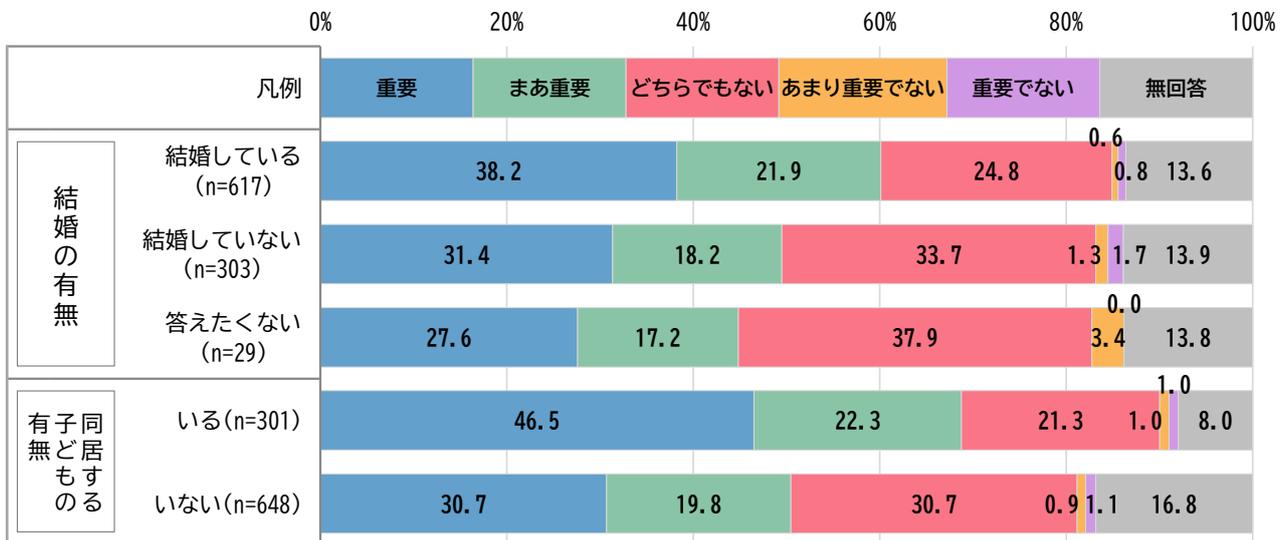
○母子保健事業の満足度については、「どちらでもない」が最も高くなっている。「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が21.0%となっており、最も高くなっている。

【母子保健事業×満足度】



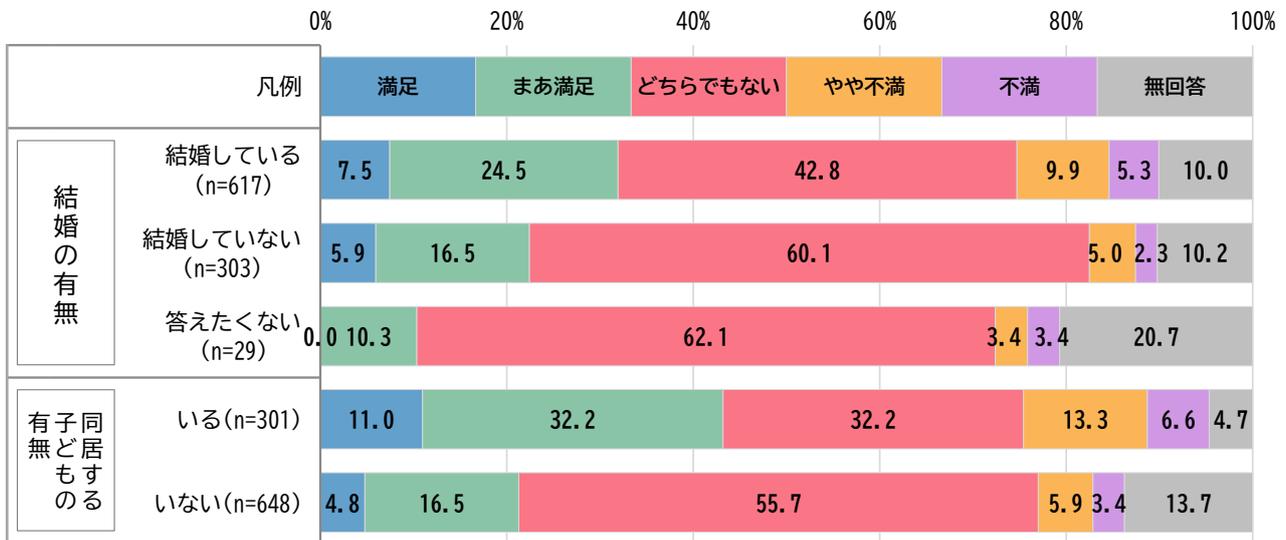
○母子保健事業の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「結婚している」「子どもがいる」では6割を超えている。

【母子保健事業×重要度】



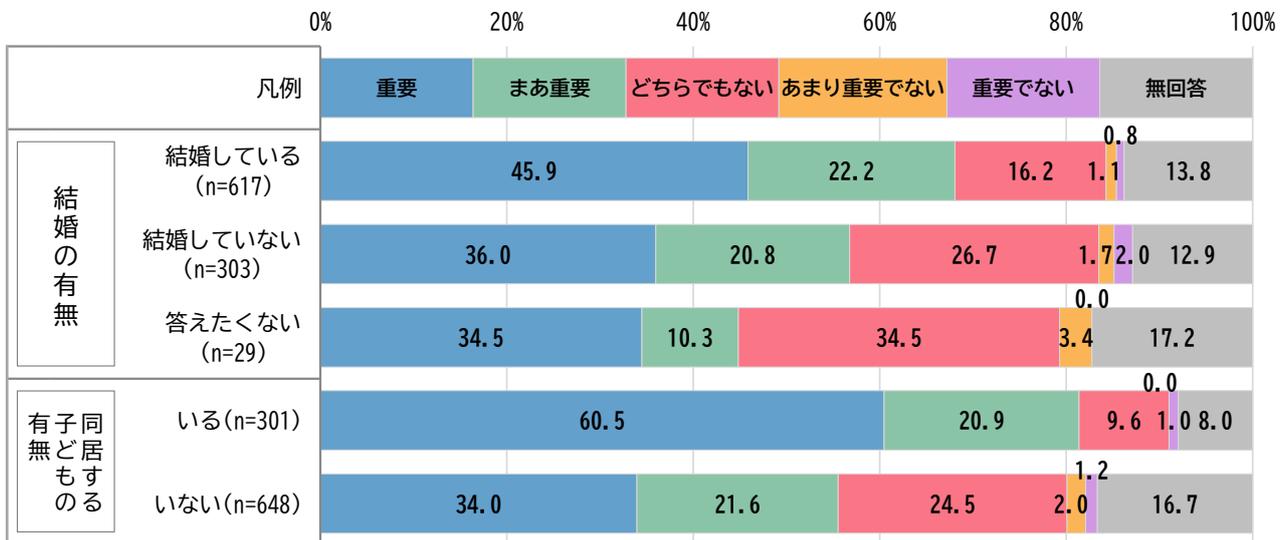
○子育て支援事業の満足度について、「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が43.2%と最も高くなっているが、「やや不満」、「不満」についても19.9%と最も高くなっている。

【子育て支援事業×満足度】

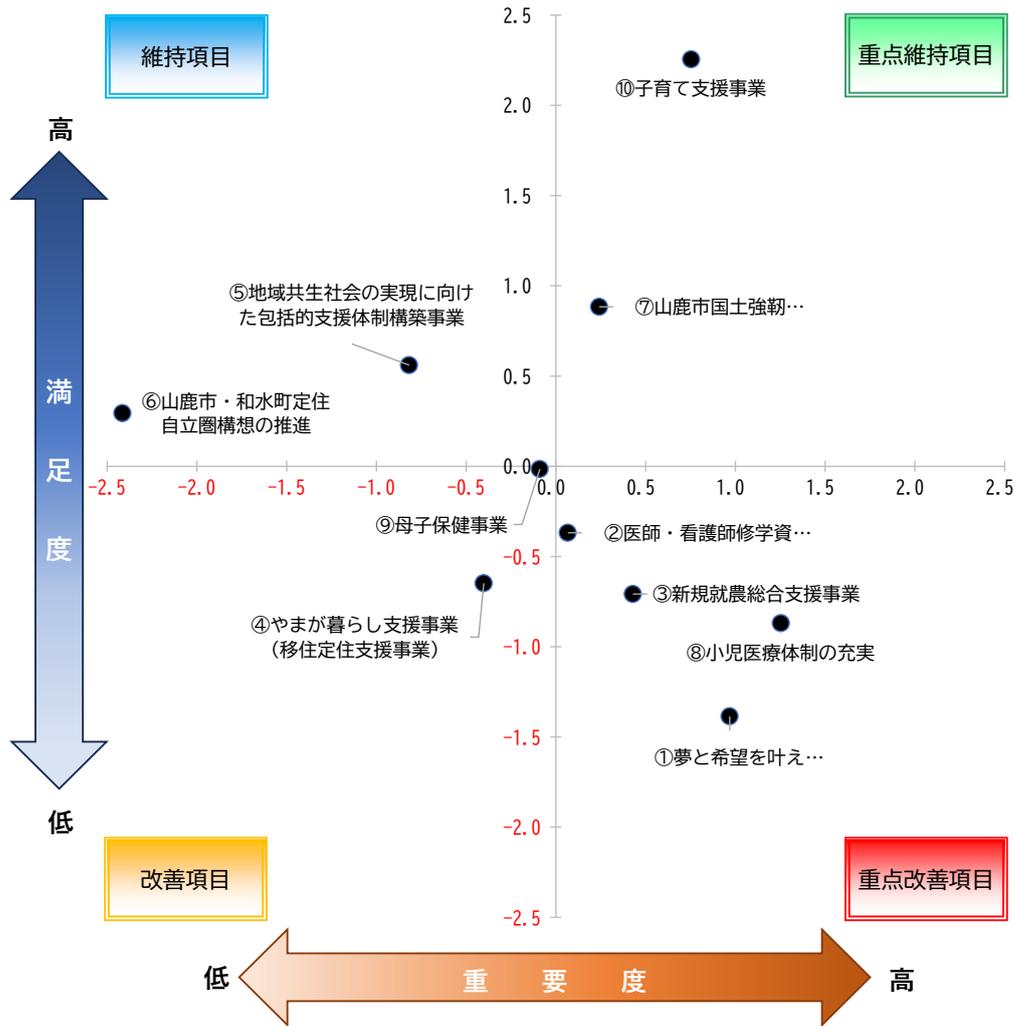


○子育て支援事業の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「子どもがいる」では81.4%と8割を超えている。

【子育て支援事業×重要度】



【人口政策における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
⑥山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.414	0.295	維持項目
⑤地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.816	0.560	維持項目
④やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）	-0.401	-0.648	改善項目
⑨母子保健事業	-0.089	-0.015	改善項目
②医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.067	-0.368	重点改善項目
⑦山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.242	0.884	重点維持項目
③新規就農総合支援事業	0.431	-0.707	重点改善項目
⑩子育て支援事業	0.755	2.255	重点維持項目
①夢と希望を叶える就労支援事業	0.970	-1.385	重点改善項目
⑧小児医療体制の充実	1.256	-0.870	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】重要度も満足度も高い項目。

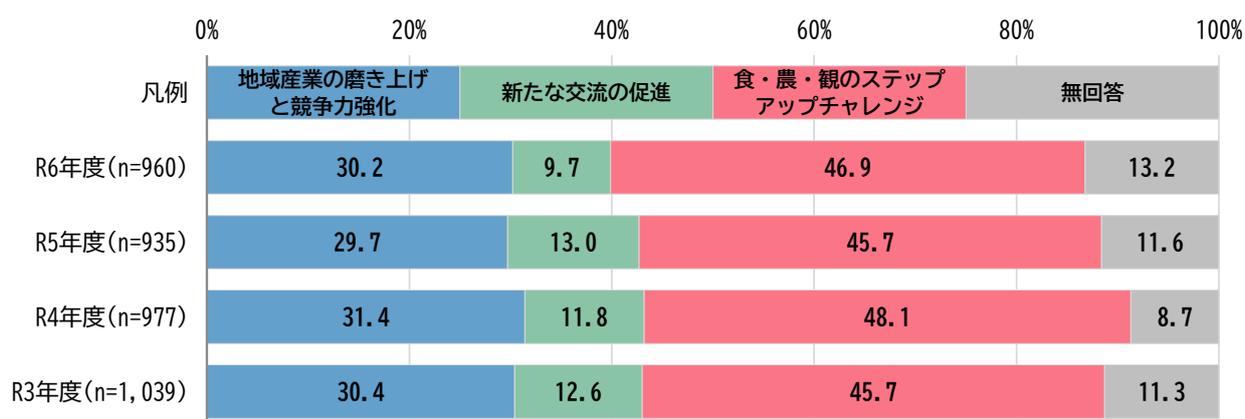
【重点改善項目】重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目。

経済政策について（充実して欲しい取組）

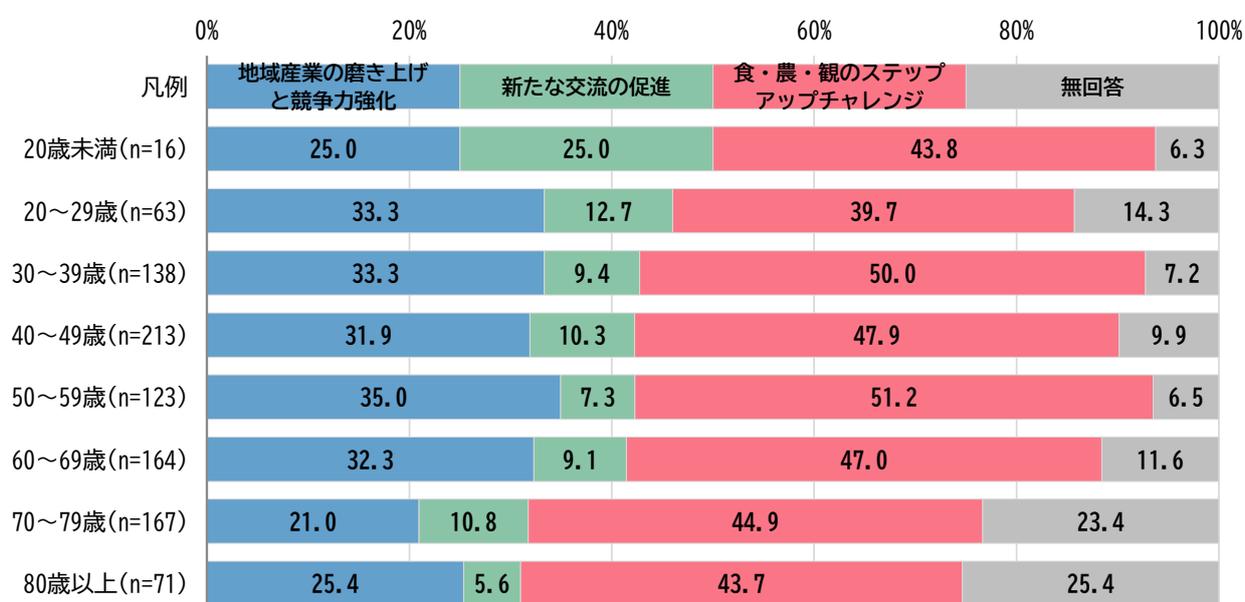
○経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が46.9%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.2%、「新たな交流の促進」9.7%となっている。各年度においても同じ傾向が見られる。

○年代別では、どの年代も「食・農・観のステップアップチャレンジ」が最も高くなっており、30代及び50代では5割を超えている。

【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（全体）



【問 12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（年代別）

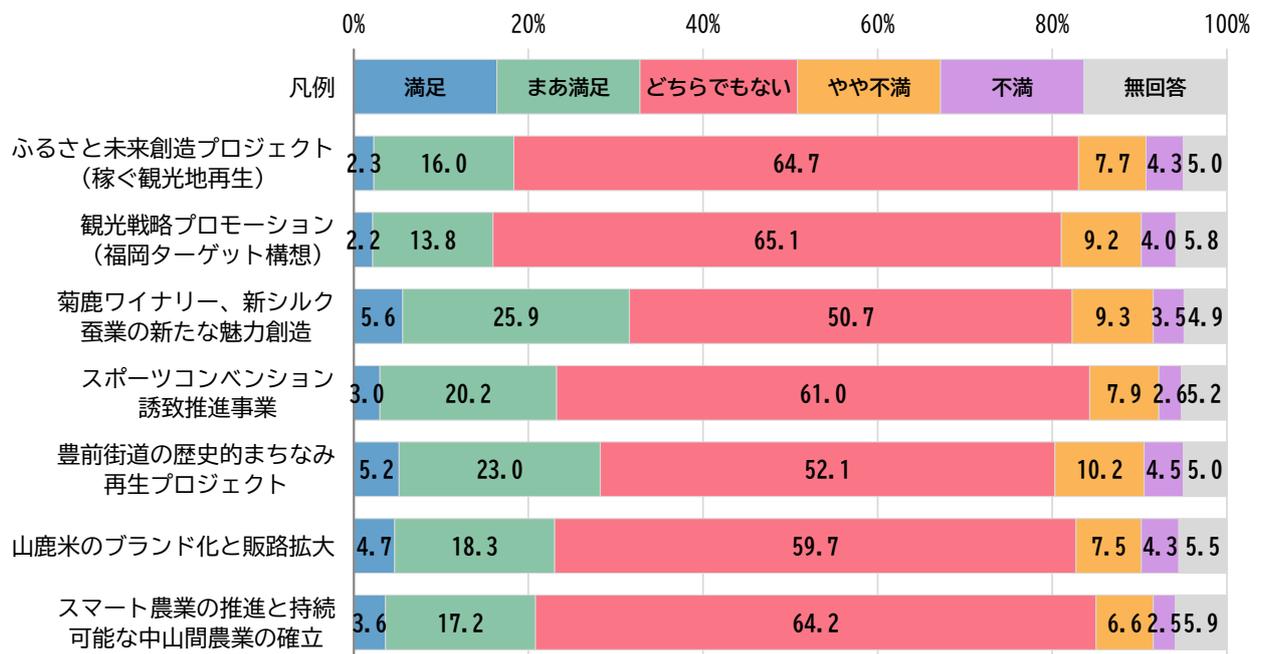


経済政策について（満足度と重要度）

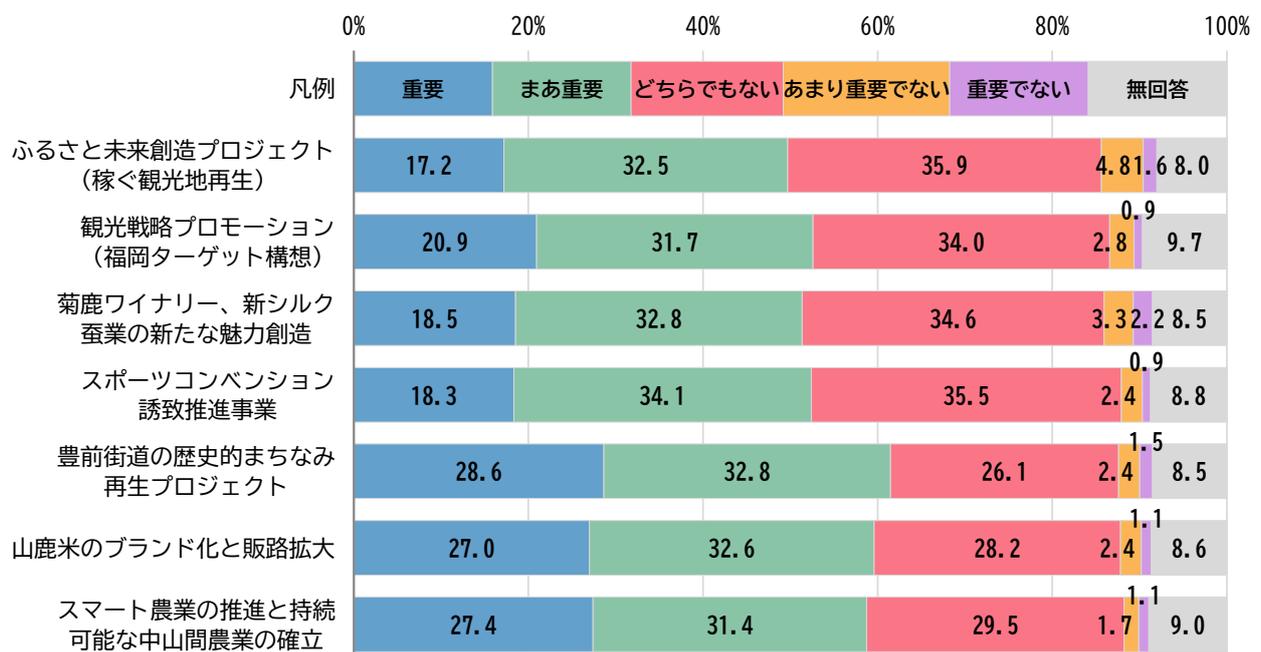
○経済政策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い政策は「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」31.5%、次いで「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」28.2%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」23.2%となっている。また、「やや不満」、「不満」はどの政策も2割以下となっている。

○経済政策の重要度については、どの政策も「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、その中でも最も高い政策は「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」61.4%、次いで「山鹿米のブランド化と販路拡大」59.6%、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」58.8%となっている。

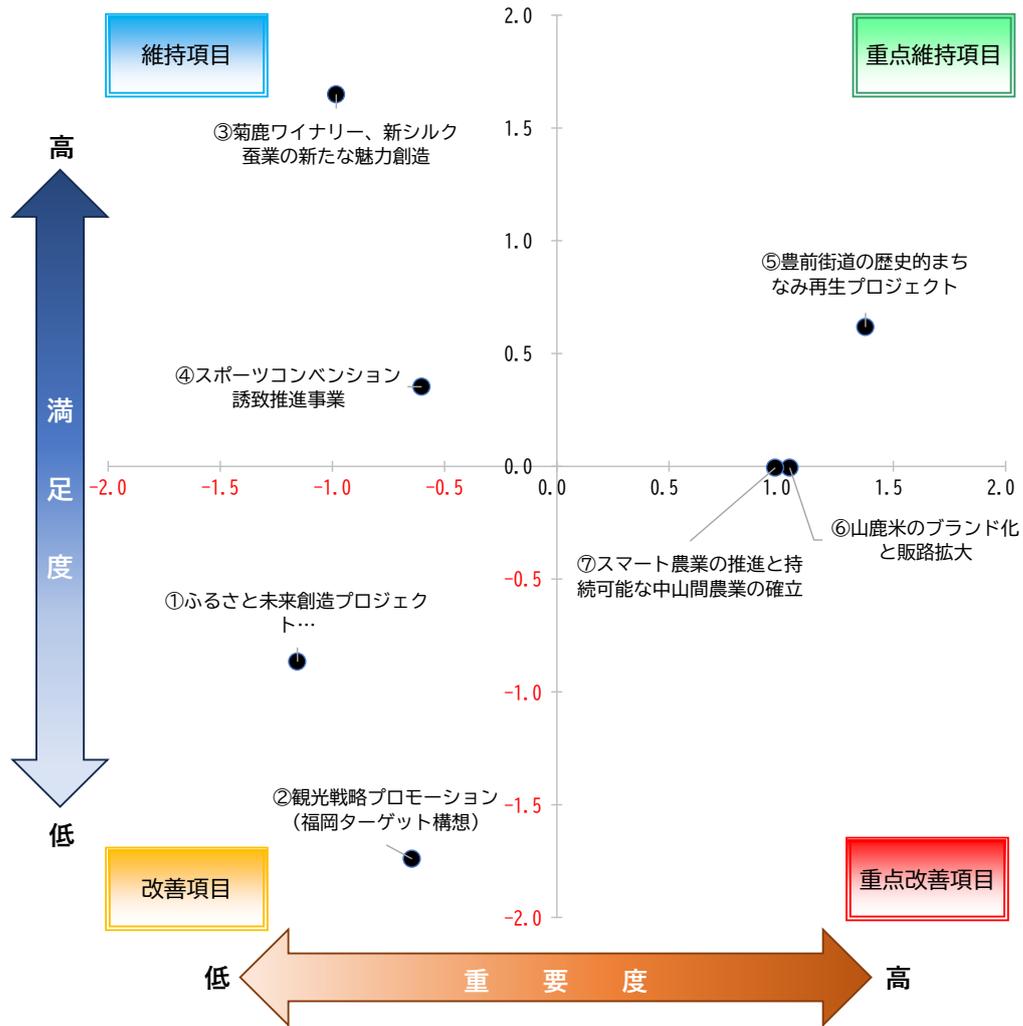
【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度】



【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の重要度】



【経済政策における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
①ふるさと未来創造プロジェクト (稼ぐ観光地再生)	-1.156	-0.866	改善項目
③菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-0.983	1.648	維持項目
②観光戦略プロモーション (福岡ターゲット構想)	-0.646	-1.740	改善項目
④スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.602	0.352	維持項目
⑦スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.973	-0.007	重点改善項目
⑥山鹿米のブランド化と販路拡大	1.038	-0.007	重点改善項目
⑤豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	1.375	0.618	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

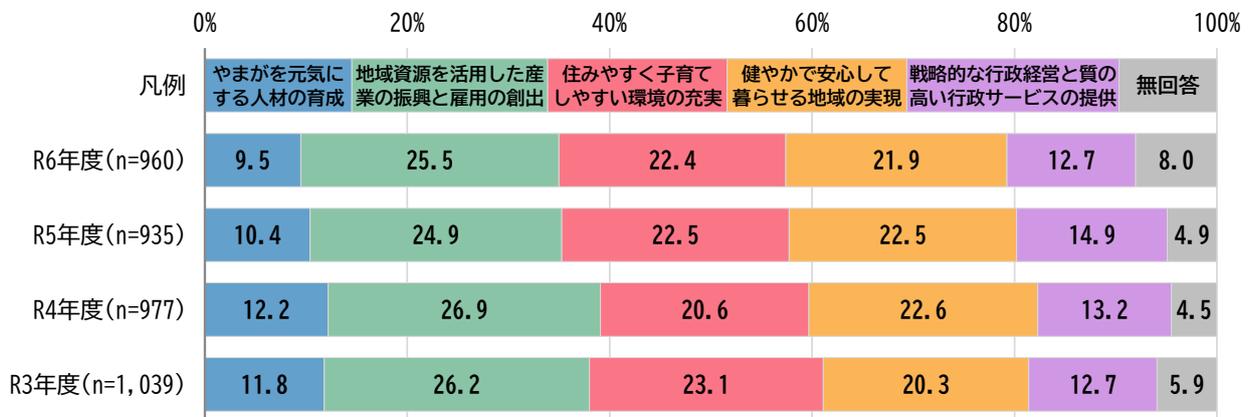
【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目。

山鹿市総合計画について（将来都市像実現のために重要と思われるもの）

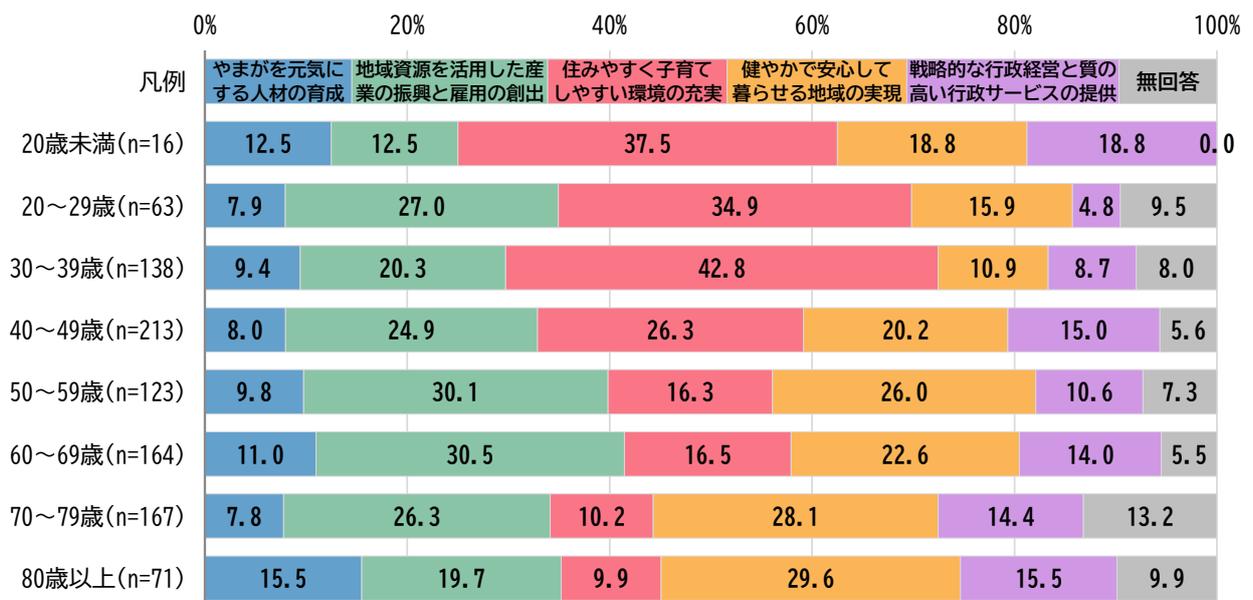
○将来の都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が25.5%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」22.4%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」21.9%となっている。各年度においても同じ傾向が見られる。

○年代別では、40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、50～60代では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、70代以降では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」が最も高くなっている。

【問 14 「人輝き飛躍する都市（まち）やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】（全体）



【問 14 「人輝き飛躍する都市（まち）やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】（年代別）

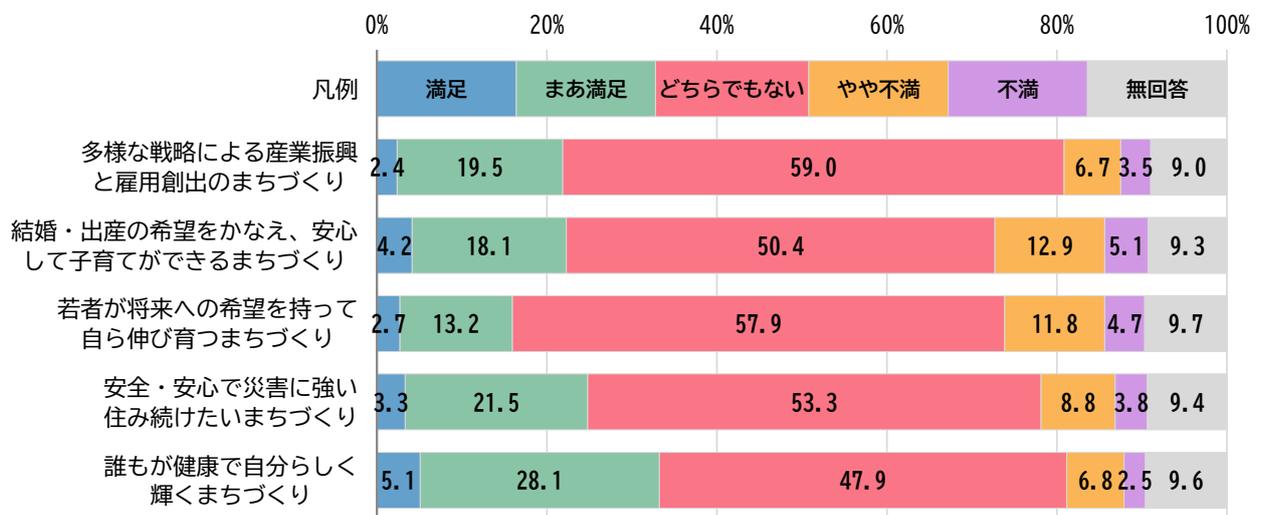


山鹿市総合計画について（満足度と重要度）

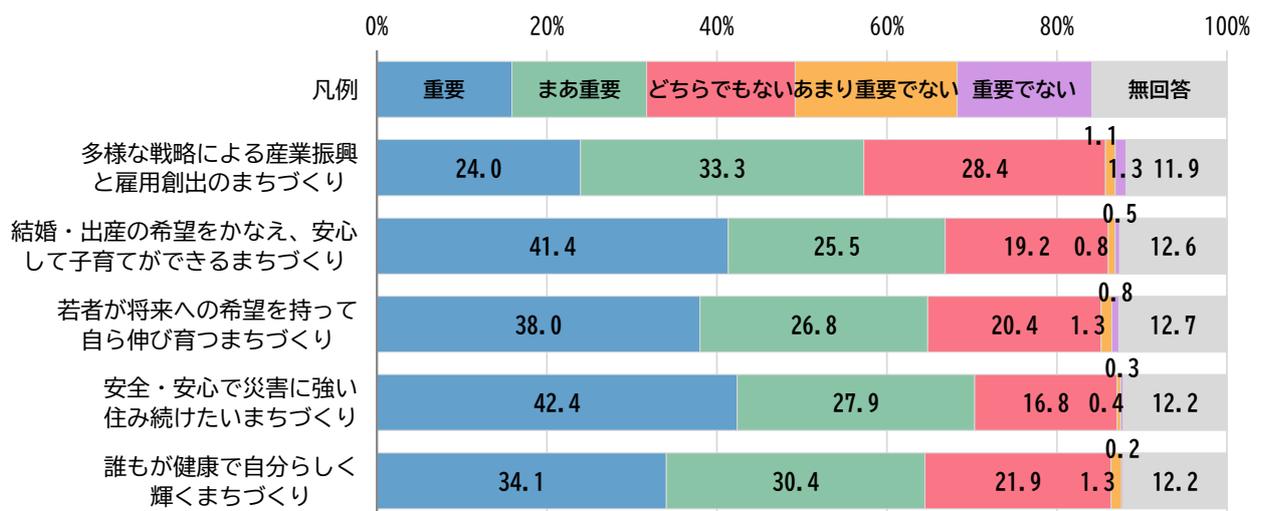
○総合計画の先導施策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い施策は「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」33.2%、次いで「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」24.8%、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」22.3%となっている。

○重要度については、どの施策も「重要」、「まあ重要」が5割を超えており、その中で最も高い施策は「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」70.3%、次いで「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」66.9%、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」64.8%となっている。

【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度】

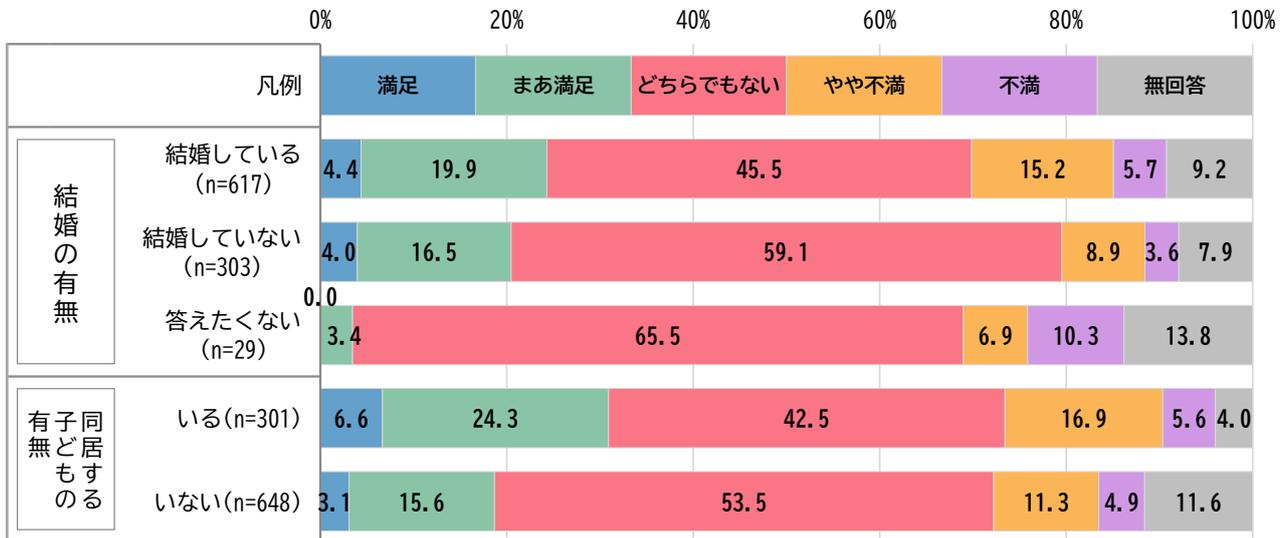


【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の重要度】



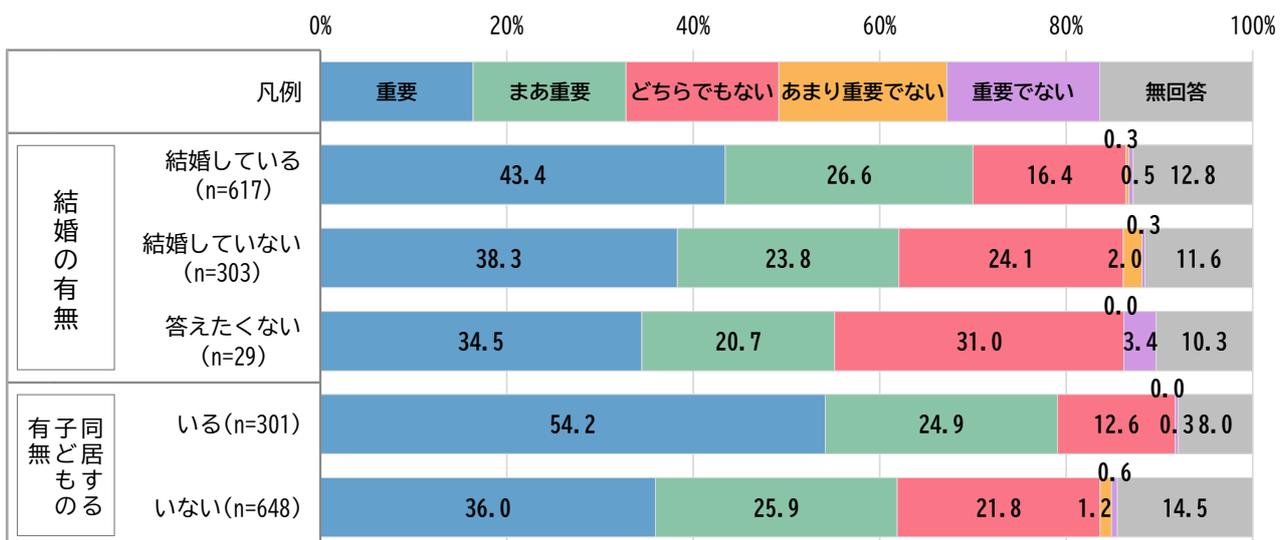
- 「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の満足度については、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。また、「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が30.9%と3割を超えている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】

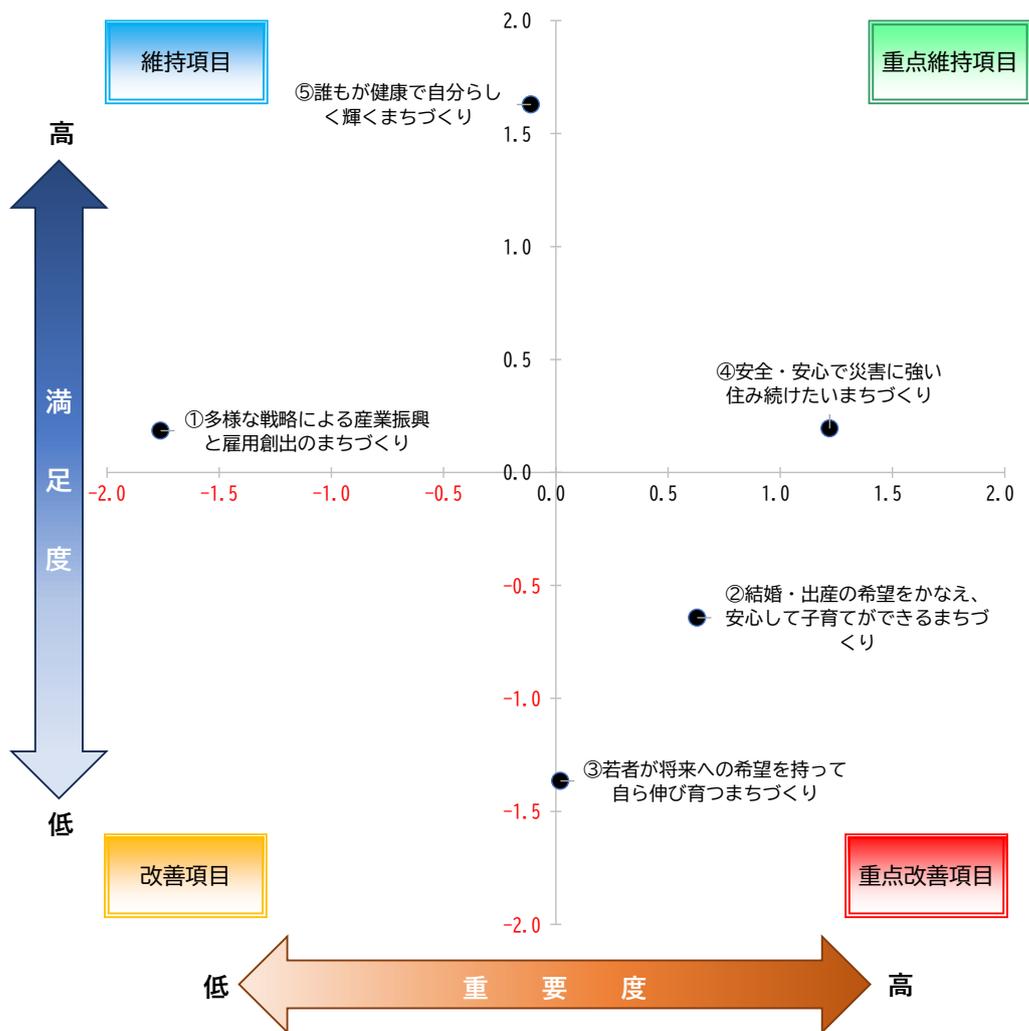


- 「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の重要度については、どの回答者も「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「結婚している」「子どもがいる」では7割を超えている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】



【山鹿市総合計画（先導施策）における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
①多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.761	0.185	維持項目
⑤誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.111	1.628	維持項目
③若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.021	-1.365	重点改善項目
②結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.630	-0.643	重点改善項目
④安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	1.221	0.195	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】重要度も満足度も高い項目。

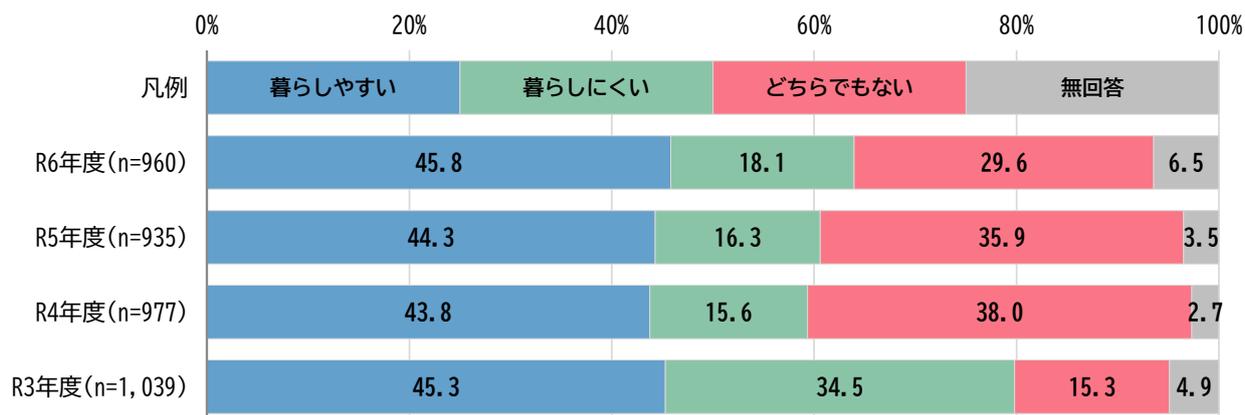
【重点改善項目】重要度が高いにも関わらず、満足度が低い項目。

山鹿市に対する考えについて（暮らしやすさ）

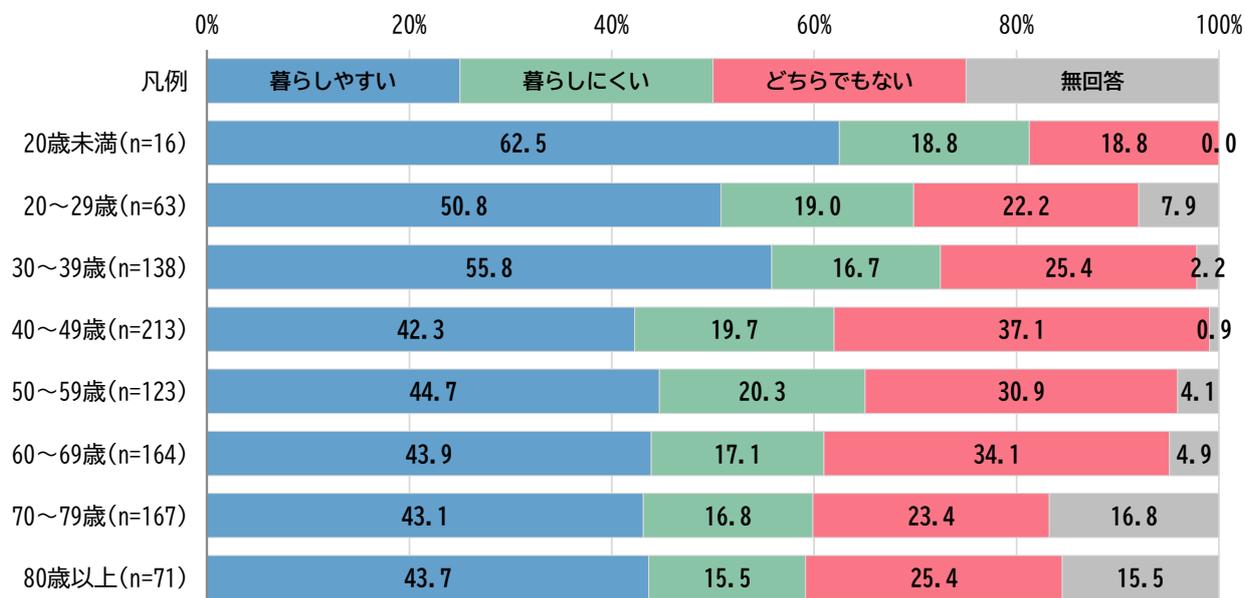
○山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が45.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」29.6%、「暮らしにくい」18.1%となっている。各年度と比較すると「無回答」の割合が増加している。

○年代別では、どの年代も「暮らしやすい」が最も高くなっており、特に30代までは5割を超えている。

【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】（全体）



【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】（年代別）

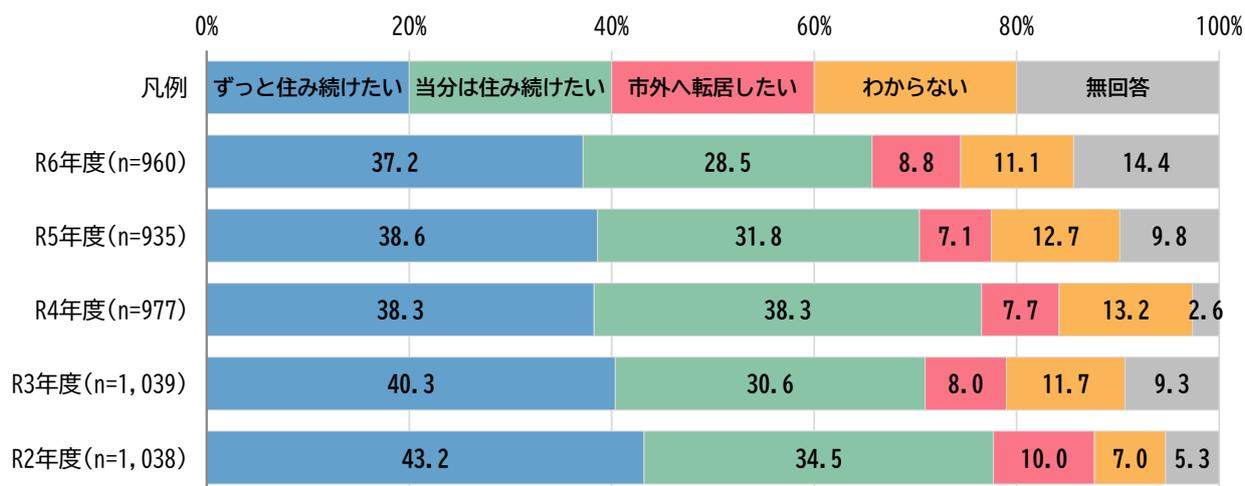


山鹿市に対する考えについて（今後の居住意向）

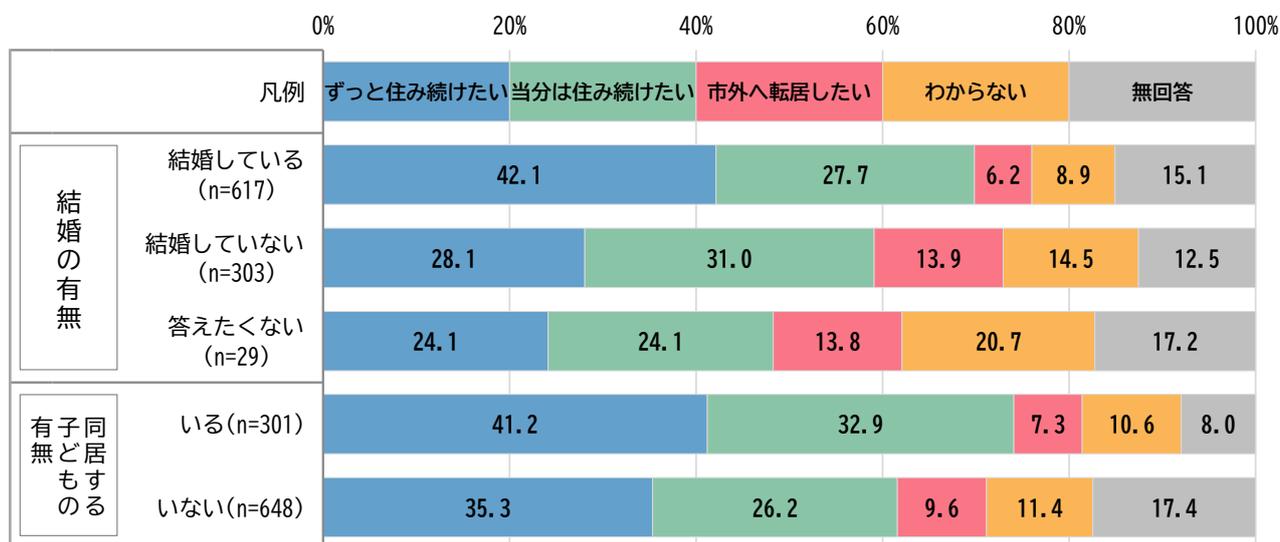
○山鹿市での今後の定住意向については「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」が65.7%となっており、約7割は定住を希望していると回答している。各年度において「市外へ転居したい」割合は1割以下となっている。

○結婚・子どもの有無別でみると、「結婚している」「子どもがいる」では約7割が「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答している。

【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】（全体）



【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】（結婚の有無・子どもの有無別）

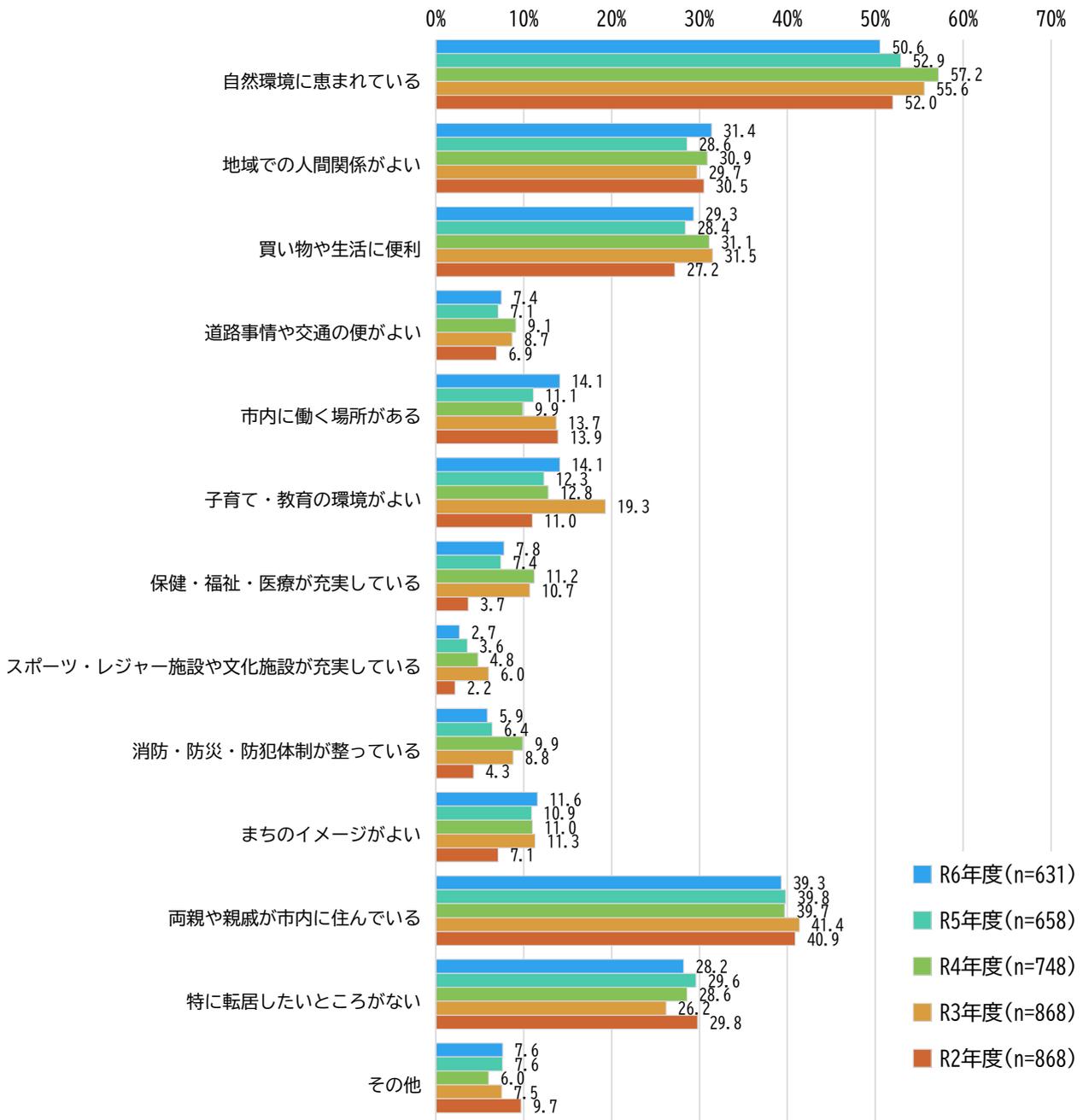


山鹿市に対する考えについて（住み続けたい理由）

○山鹿市に住み続けたい理由については、「自然環境に恵まれている」が50.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.3%、「地域での人間関係がよい」31.4%となっている。

○その他の意見として、「土地、家があるから」「持ち家があるから」「先祖からの土地であるため」「生まれ育ったところ」「温泉がある」等、持ち家、生まれ育った場所への愛着等の声が挙げられているが、高齢化による転居の難しさを訴える意見もみられた。

【問18 住み続けたい理由（複数回答）】(全体)

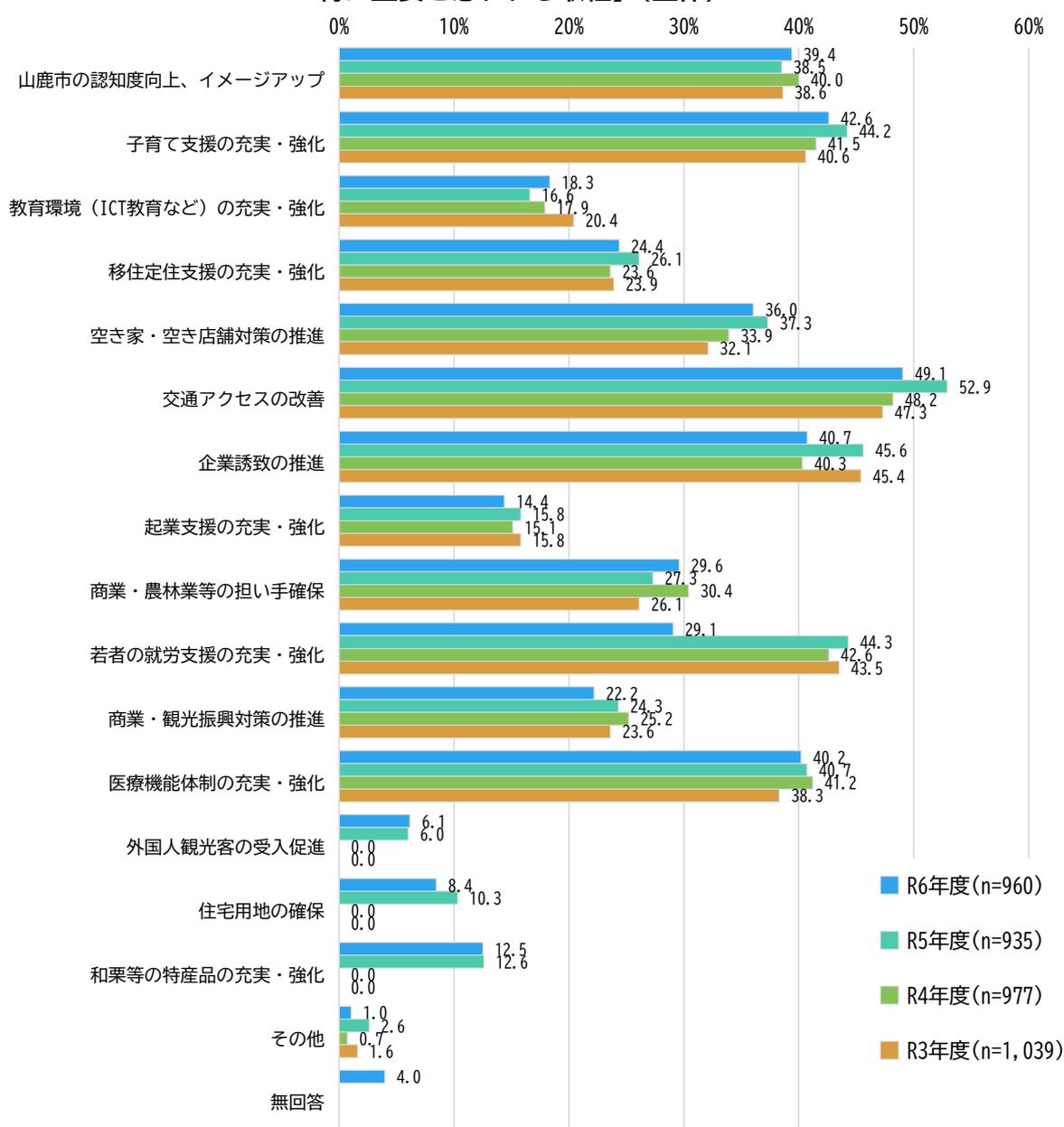


山鹿市に対する考えについて(「選ばれる山鹿」になるための重要な取組)

○市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組については、「交通アクセスの改善」が49.1%と最も高く、次いで「子育て支援の充実・強化」42.6%、「企業誘致の推進」40.7%となっており、「医療機能体制の充実・強化」も4割を超えている。また、R5年度との比較では「若者の就労支援の充実・強化」が15.2ポイント低くなっている。

○その他の意見として、「高齢者に優しい町づくり」「レジャーの充実」「少子高齢化を止める事」「若い層のイベントなど」「上下水道の整備」「老人福祉施設の充実・強化」「農林業、観光の発展」等の意見が挙げられている。

【問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組】(全体)



市民アンケート総括

I 山鹿市の現状について

- 人口減少については、約8割が『危機感がある』と回答している。
- 元気度については、前回同様に5割が『活気がない』と回答しており、『活気がある』がR4年度以降は2割台となっているが、30代までの若い世代では『活気がある』が『活気がない』を上回っている。また、鹿央地域では他の地域と比べて『活気がある』が低くなっている。
- 農林業の現状については、6割が『衰退している』と回答している。
- 観光産業の現状については、4割が『活気がある』と回答しており、『衰退している』を上回っている。また、R4年度までは『衰退している』が『活気がある』を上回っていたが、R5年度以降は『活気がある』が高くなっており、R6年度では4割台となっている。
- 人口減少や農林業の衰退に対する懸念が強い一方で、観光産業は活気があると感じる割合が増加している。

II 人口政策について

- 人口政策で充実してほしい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が25.7%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.5%、「移住定住の促進」18.6%となっている。
- 人口政策の満足度について、『満足』の割合が最も高い政策は「子育て支援事業」28.1%、次いで「小児医療体制の充実」24.4%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」20.0%となっている。また、『不満』の割合が最も高い政策は「小児医療体制の充実」22.9%、次いで「夢と希望を叶える就労支援事業」22.3%、「やまが暮らし支援事業」18.5%となっており、「小児医療体制の充実」について満足度は2番目に高いが、不満度では最も高くなっている。
- 人口政策の重要度について、どの政策も『重要』の割合が『重要でない』を上回っており、特に「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」「子育て支援事業」は6割を超えている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」が挙げられている。

Ⅲ 経済政策について

- 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が46.9%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.2%、「新たな交流の促進」9.7%となっている。
- 経済政策の満足度について、『満足』の割合が最も高い政策は「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」31.5%、次いで「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」28.2%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」23.2%となっている。また、『不満』はどの政策も1割前後となっている。
- 経済政策の重要度については、どの政策も『重要』が『重要でない』を上回っており、その中でも最も高い政策は「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」61.4%、次いで「山鹿米のブランド化と販路拡大」59.6%、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」58.8%となっている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度は低い）としては、「山鹿米のブランド化と販路拡大」「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」が挙げられている。

Ⅳ 山鹿市総合計画について

- 将来の都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が25.5%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」22.4%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」21.9%となっている。
- 総合計画の先導施策の満足度について、『満足』の割合が最も高い施策は「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」33.2%、次いで「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」24.8%、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」22.3%となっている。
- 重要度については、どの施策も『重要』が『重要でない』を上回っており、その中で最も高い施策は「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」70.3%、次いで「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」66.9%、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」64.8%となっている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度は低い）としては、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」が挙げられている。

V 山鹿市に対する考えについて

- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が45.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」29.6%、「暮らしにくい」18.1%となっている。
- 山鹿市での今後の定住意向については『住み続けたい』が65.7%となっており、約7割は定住を希望していると回答している。
- 過去調査との比較では、R5年度までは『住み続けたい』が7割台となっているが、R6年度は6割台となっている。
- 山鹿市に『住み続けたい』理由については、「自然環境に恵まれている」が50.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.3%、「地域での人間関係がよい」31.4%となっている。その他の意見として、「土地、家があるから」「持ち家があるから」「先祖からの土地であるため」「生まれ育ったところ」「温泉がある」等、持ち家、生まれ育った場所への愛着等の声が挙げられているが、高齢化による転居の難しさを訴える意見もみられた。
- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組については、「交通アクセスの改善」が49.1%と最も高く、次いで「子育て支援の充実・強化」42.6%、「企業誘致の推進」40.7%となっており、「医療機能体制の充実・強化」も4割を超えている。また、R5年度との比較では「若者の就労支援の充実・強化」が15.2ポイント低くなっている。その他の意見として、「高齢者に優しい町づくり」「レジャーの充実」「少子高齢化を止める事」「若い層のイベントなど」「上下水道の整備」「老人福祉施設の充実・強化」「農林業、観光の発展」等、さまざまな意見が挙げられている。

VI 今後、充実すべき・新たな取組

- ・物価高騰への対応：給食費の無償化や物価高騰による給付金の支給は低所得世帯だけではなく、全世帯に行うべきとの意見もあり、物価高騰への支援が求められている。
- ・交通アクセスの改善：「熊本市内から30分以内行き来できる交通手段が必要」との意見が多く、特にバスの便を増やすことや新しいルートの開設が求められている。
- ・企業誘致：「企業誘致を拡大していくことが山鹿市の発展への最も近道」との意見があり、特にTSMC関連の企業誘致が期待されている。就労場所が増えることで若者の定住や商業の活性化、人口増加が見込まれる。
- ・福祉と医療の充実：「医療の環境強化」「福祉施設の増加」が求められており、高齢者や子育て世代への支援が重要視されており、特に、安心して子どもを産み育てられる環境作りが必要とされている。
- ・地域の魅力向上とPR活動：「山鹿の魅力を大々的に取り上げて広めて全国から企業、移住者が集える都市を目指してほしい」との意見があり、観光資源や特産品のPRが重要視されており、地域のイベントや文化活動を活かした取組が求められている。